

市内の中学校部活動が 地域移行に向けて動き出します！

令和7年度
まずは

剣道部
卓球部



中学校の部活動は、教職員や部活動指導員・外部指導者が連携しながら指導していますが、今後、生徒数の減少等により、これまで通りの体制を続けていくことが難しくなっていくことが予想されます。そのため、学校から地域での活動へと移行していく取組が、令和5年度から全国的に進められています。

真岡市では、令和7年度、全校の**剣道部**、一部の**卓球部**を対象に部活動の地域移行に向けて、国からの補助を受けたモデル事業を実施します。このモデル事業をもとに、令和8年度以降は段階的に種目を広げていく予定です。

令和7年度 真岡市のモデル事業について

開始時期：3年生が引退して新チーム体制となる9月を予定

剣道部

休日の合同地域クラブ活動

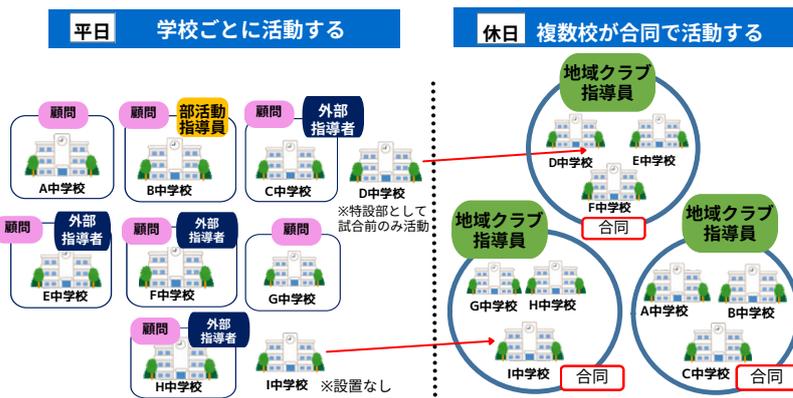
対象：市内全9中学校

(剣道部がない学校の生徒も参加可能)

活動：休日は、複数の学校が合同で活動し、
現在指導している各校の部活動指導員、外部指導者が地域クラブ指導員として指導する

※兼職兼業を希望する教職員も地域クラブ指導員になる場合があります

※平日は、これまで通りの部活動です。



合同での地域クラブ活動のイメージ

※学校の組み合わせや指導者等、具体的な内容について検討を進めています。詳細が決まりしだいお知らせします。

卓球部

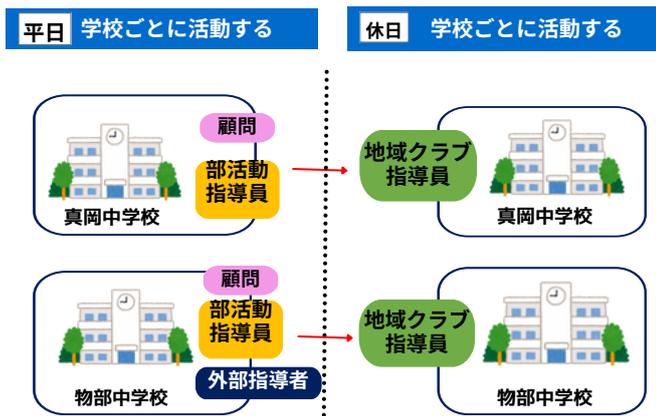
休日の学校単独での地域クラブ活動

対象：真岡中学校 物部中学校

活動：休日は、現在指導している部活動指導員、
外部指導者が地域クラブ指導員として指導する

※兼職兼業を希望する教職員も地域クラブ指導員になる場合があります

※平日は、これまで通りの部活動です。



費用負担：部活動ではなく地域クラブ活動となるため、スポーツ保険や指導者の謝金が必要となりますが、令和7年度はモデル事業のため国や市が負担します。

その他：令和7年度の大会参加は学校単位を基本とします。

問合せ先

真岡市教育委員会

学校教育課 教育政策係 81-9052

スポーツ振興課 84-2811/文化課 83-7732/生涯学習課 82-7152





学校部活動 Q&A

Q1 中学校の部活動は、これからどのように変わっていくのですか？

少子化による生徒数・教職員数の減少等により、これまでと同じ体制で中学校の部活動を維持していくのは難しくなっています。そのため、地域の方々の協力を得ながら、様々な地域の活動団体により運営される「地域クラブ活動」として実施していくこととなります。

学校部活動

- ・学校が主体となって行う
- ・教職員や部活動指導員が指導する
- ・学校の規模や生徒数に応じて種目を設置



地域への
移行・展開

地域クラブ活動

- ・地域が主体となって行う
 - ・地域の指導者が指導する
 - ・多種多様なスポーツや文化芸術活動
- ※地域の指導者には希望する教職員も含まれます

Q2 令和7年度は剣道部（対象：全9中学校）と卓球部（対象：物部中・真岡中）でモデル事業を実施しますが、他の部活動はどのようになりますか？

令和7年度真岡市のモデル事業として取り組むのは剣道部、2校の卓球部です。この他の部活動は、これまで通り学校の実態に応じて顧問の先生や部活動指導員・外部指導者等が連携しながら活動します。令和8年度は文化部も含め地域クラブとする種目の拡充に向けて、対象となる部活動を検討します。

Q3 部活動を学校から地域に移行するとどんなことが期待されますか？

学校の部活動にはなかった
新たな活動を選択し
チャレンジできる

他の学校の生徒や地域の
指導者と交流できる

部活動の枠を超え、
子どもたちがやりたいことを
できる環境づくりにつながる

中学生の新たな
居場所づくり
につながる

地域社会の活性化に
つながる



これまで大きな教育的意義を担ってきた中学校部活動の仕組みを変えていくためには、乗り越えるべきたくさんの課題があります。

真岡市では、「真岡の子どもたちを真岡で育てる」という考えのもと、学校と地域が協力して、より充実したスポーツ・文化芸術活動ができるような環境を整え、子どもたちの健全な育成を目指します。

